

大洗 議会だより

目次

1月議会臨時会

.....

2

議会行政視察報告

茨城県境町

.....

3



No.198
特別号
2022.2.16

未来の交通手段「自動運転バス」

1月議会臨時会

1月議会臨時会は、1月27日に開催し、議案については下記のとおり可決しました。

審議した議案と各議員の賛否

議案番号	議案名	賛否数		議 員 名											
		賛成	反対	飯田 英樹	柴田佑美子	櫻井 重明	伊藤 豊	石山 淳	小沼 正男	今村 和章	和田 淳也	海老沢功泰	勝村 勝一	坂本 純治	菊地 昇悦
議案第1号	令和3年度大洗町一般会計補正予算(第7号)の専決処分につき承認を求めることについて	11	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和3年度大洗町一般会計補正予算(第8号)の専決処分につき承認を求めることについて	11	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和3年度大洗町一般会計補正予算(第9号)の専決処分につき承認を求めることについて	11	0	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和3年度大洗町一般会計補正予算(第10号)の専決処分につき承認を求めることについて	11	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和3年度大洗町一般会計補正予算(第11号)	11	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は欠席 ※議長は賛否同数時のみ加わります。

15日
議会全員協議会

議会運営委員会

1日
議会運営委員会

議会広報編集委員会

2月

27日
第1回議会臨時会

議会広報編集委員会

1月

議会日誌



本会議のようすをインターネットで録画配信を行っています。



大洗町議会行政視察報告

12月17日(金)

茨城県境町



報告者

大洗町議会 議長 飯田 英樹

令和3年12月17日、議会行政視察研修として茨城県境町を訪問しました。

境町は様々な先進的な取り組みが評価されている自治体として有名です。

今回の視察では、境町の「ふるさと納税事業」のほか、「道の駅事業」、「移住定住促進事業」、「子育て支援政策」、「自動運転バスの運用」などについて学んできました。

自治体運営で最も重要なことは財源の確保です。近年、国からの

交付金や税収は伸びず、一方で住民サービスは拡大の一途をたどる厳しい時代になっています。

我が町では國井町長が就任し、真っ先に取り組んだのが財源確保のための「ふるさと納税」です。

このふるさと納税制度では、大きく税収が落ち込む自治体や多額の寄附金が集まる自治体など様々であり、制度自体に「賛否両論」があるところですが、定められた範囲内において、このふるさと納税制度を活用し、住民の福祉向上に充てることは重要であると考えます。



境町 橋本町長から説明を受けました





今回の視察先であります境町では、多様な先進的な取り組みによって多額の寄附金を集め、若い世代から高齢者までが住みやすいまちづくりを展開していました。数年前に、ある国会議員の方が大洗町を訪れた際に、「この町からは元氣とパワーを感じる。」と話しておりましたが、今回、私たちは境町を訪問し、この国会議員の言葉の意味を理解することができました。

最後になりますが、今回の視察におきまして、境町 橋本町長をはじめ、境町担当職員の皆様、境町議会議員の皆様方からのご協力をいただき、大変有意義な視察研修になりましたことを心より感謝申し上げます。



子育て世帯向け施設「ニコニコパーク」



(株)セネック(自動運転バス運行会社)にて遠隔監視システムの運用について視察しました



自動運転バスに乗車体験しました

英語教育先進地

柴田 佑美子

境町と言えば、「ふるさと納税」「限研吾」「自動運転バス」、そして「英語教育」です。数多くのメディアからの注目により、日々、テレビ・新聞等で目にしない日がないほど露出度は高く、町のPRは狙い通りではないかと思えます。

多岐にわたる視察内容でしたが、英語教育先進地の視点で報告します。町内には小学校5校、中学校2校、公立保育園2園に対し、1校約3人の外国人英語講師（ALT）が配置され、一日中ALTが常駐し、休み時間や給食も子どもたちと一緒に過ごしています。他自治体との違いはフィリピン共和国マリキナ市と姉妹都市協定を締結し、フィリピンよりALTを迎えている

ことであり、国の制度により交付税措置がとられています。

平成30年4月から事業が開始され4年が経過している今、英検の受験者数・取得者数ともに成果が表れています。何よりも児童アンケートで「英語が好きで楽しい」との回答が80%を超えていることです。未来への投資の事業を町ぐるみで行い、子育て世代の移住促進

進の結果にも表れているように感じます。

地方創生交付金 活用のまぢづくり

櫻井 重明

町外からの移住者増により人口減少に歯止めをかけ、さらには財政負担を削減し、ふるさと納税額が30億円を超える境町を視察してきました。

私はふるさと納税事業や英語教育

での子育て支援といった施策もさることながら、地方創生交付金を上手く活用したまぢづくりに着目しました。

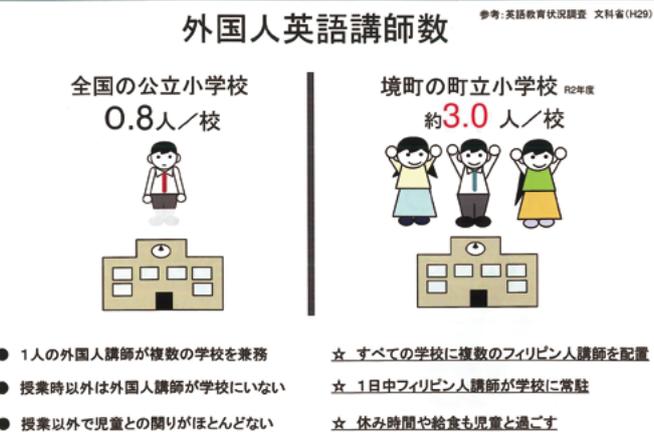
ほとんどが古い民家や使われなくなった施設等に地方創生交付金を活用してリノベーションし、さらなる魅力を付加させた施設に変貌させたモノ

でした。

その仕組みづくりが大変すばらしく、総事業費の50%が交付金で25%が地方交付税、残る25%をテナント事業者からの家賃収入で補う事によって、自治体負担をゼロで運用していくものです。

大洗町もこれらの良い取り組みを参考に、町と議会が一体となって大洗町ならではの施策を練り出し、さらに魅力ある大洗町となるよう尽力していきたいと強く感じた視察でした。

境町スーパーグローバルスクール事業



境町のふるさと納税状況



スポーツ施設の充実

伊藤 豊

「すべての子どもが英語を話せる町へ」「自動運転バス」「境町モデル」「維持管理費ゼロの公共投資」「PFI町営住宅事業」など、情報量の多さに衝撃の連続でした。

ハコモノや公共施設と聞くと将来へのつけや維持管理費の問題が残ってしまうイメージがあります。が、地方創生交付金と交付税の活用で建設費用を約4分の1の自治体負担で抑え、民間からの家賃収



オリンピック仕様 ハードコートのテニスコート



オリンピック仕様 ウォーターベース人工芝のホッケー場

入で維持管理費の税負担はゼロにするなど、しっかりと将来を見据え、投資を積極的且つ戦略的に展開していました。

羨ましいとも思えたのは、屋根付きの公園やホッケー場、テニスコート、スケートボードパークに人工波のサーフィン施設など、スポーツ施設の充実でした。私の目指す大洗の将来像に非常に近いものを感じましたので、事業の進め方や交付税の獲得戦略など、今後の大洗町発展のため、取り入れていきたいと思っています。

子育て世帯 移住定住促進住宅

石山 淳

三年前にも非公式ながら議員数名と境町役場で執行部各位より先進的な施策の展開をうかがいに赴いたことがありましたが更に進化をしておりました。

その1つ移住定住促進の取り組みをご報告致します。

町外在住者対象（子育て支援世帯に限定）に一戸建て住宅を町有地等に建設し、20年間賃貸（家賃月額52,000円）期間満了後に土地建物の所有権を無償譲渡すると言うものです。居住者のメリットとして長期間住宅ローン保証会社への保証料、金利負担、20年間固定資産税等納付、建物等維持管理に要する費用が無いのが利点です。その数百万円の費用分を教育費等々に充当することが出来ます。

この施策の効果ですが、完成し



※イメージ画像

新築戸建住宅 全7棟

子育て世帯
移住定住
促進住宅

家賃52,000円！町外の方限定！
20年住み続けたら無償譲渡！
構造/木造2階建て 4LDK
※敷金 52,000円

た7棟には7世帯26名が住んでおります。また、この事業開始直後に完成した1つの物件に対して17世帯の応募があり競争率17倍という盛況ぶりだったそうです。

この事業に必要な土地は、町が購入した土地だけではなく寄付された土地もあり、増加する空き家や長年活用されていない土地等の有効活用にもつながれると思われました。

尚、財源は一般財源とのこと。20年の長期間になるため、中途解約の問題等、懸念される部分もありますが、境町のオリジナルな施策であるので今後の展開に注目です。

集客ある道の駅さかい

小沼 正男

境町を議会で視察してきました。境町は町全体が非常に活気があり、橋本町長を中心に、町の執行部、議会が一丸となって、前を向いている、そんな感じがしました。

政策の取り組みの中で、道の駅



さかいリニューアルなど建造物6施設が世界的に有名な建築家隈研吾氏による設計ということで、話題性とPRのしかたが大変素晴らしいと思えました。また、道の駅の中に友好交流協定を締結している沖縄県国頭村のアンテナショップが併設され、集客に一役かっていることがとても良いと思えました。

さかいまちづくり公社による地域活性化

今村 和章

50億円、これは境町に納められる「ふるさと納税」の年額（令和3年）です。

納税であるため、行政が業務を行っているのが通常だと思えますが、境町では「さかいまちづくり公社」（地域商社）に連携という形態で事業を任せていました。元は観光協会でスタートし、協会長

は公社の社長を今も兼務されています。

この公社は、「ふるさと納税事業」だけではなく「道の駅事業」「まちづくり事業」「ものづくり事業」他5事業と元々の「観光事業」も請け負っており、地域活性化の核になっていると感じました。また、

これだけの事業を行う

うにも町からの補助

金は発生しておらず、

町の負担は無いです。

どの地域でも大半が

観光協会や商工会などに補助金は出しています。まして事業

を依頼すれば、それ

に見合った事業補助

金を負担するのが当然だったと思います。境町では指定管理や委託管理で町財源

を支払うのではなく、施設運営を任せ得た収益を町へ納めているとこのような新たな体系でした。財政負担のない体系は、これからの自治体運営において望ましいと考えます。



コンパクトシティ 境町

勝村 勝一

以前より計画していた境町視察をコロナ禍でなかなかできませんでしたが、今回ようやく実施することができ、境町のコンパクトシティとして未来型への町政のかじ取りを強く感じる視察となりました。

観光する場所が町の中に上手く点在していて、来誘客の滞在時間の延長につながり、町の経済効果になっていることには大変感心し、勉強になりました。

また、ラインを敷いて観光する場所への案内に対しては、来誘客への「心配り」が感じられ、わが大洗町には「おもてなし条例」があるので、もっと来誘客への「心配り」が必要であると思いました。今後、大洗町の明るい未来のために、境町をお手本として頑張っ
てまちづくりを進めていきたいと思
います。

境町の子育て支援

菊地 昇悦

今期のNHK朝ドラが人気のようです。戦前からラジオの英語講座があったことは知りませんでした。英語を学んだ主人公がどのような人生を歩むのか興味です。

境町の保護者意識調査で「年少から英語を学ばせたいが、金銭的コストの理由で何もできていない」との回答が67%になっていたそうです。町は教育を柱としたまちづくりで、特に「すべての子どもが英語を話せる町へ」と町民の願いと合致させ、同時に移住促進策として英語を学ばせたい町をPR、実績を上げています。

子どもたちの将来について多様な生き方を願っているようです。

また、子育て支援は英語の学びだけでなく、保育・学校教育に係る給食費などの負担軽減を強化していることは注目できます。

多額のふるさと納税が入るからとみてしまえば、それまでのことになってしま
います。確かに大きな財源
ではありますが、子どもた
ちの未来をどう応援するの
か、寄附がなくとも考えて
いくことはできるはずです。

子育て支援日本一を目指す
境町は子供たちの未来のために
最大限の投資をしています

境町は「学べる 英語教育に特化」

小学生・中学生

小・中・高で無料
先達英語教育

境町は「育める 安心の子育てサポート」

子育て世代の安心をサポート

境町は「力ける 奨学金・補助金」

奨学金・補助金

令和4年 第1回議会定例会 のお知らせ

令和4年3月3日(木)
開会を予定しております。

◆会期日程・審議内容等、詳細につきましては、週報、ホームページ等にて改めてご案内いたします。

広報編集委員会の取り組み報告 (はじめてのWEB会議)

議会広報紙の作成にあたっては、広報編集委員が役場に集まって掲載する記事や写真等の構成を練っていますが、スケジュール調整に一苦労することもあります。

今回、試験的な取り組みとしてWEB会議(インターネットを通して映像や音声、ファイルなどのやり取りを行う会議)を開催しました。

日常生活において、スマホやパソコン等で画面越しに会話をするのは珍しいことではありませんが、新鮮味もあり非常に活発な活動ができました。正式に導入していくためには、いくつかの課題を整理しなければなりません。正式に導入されれば更に活発な議会活動が行えると思います。

大洗町議会ホームページ

議会の会期日程等のお知らせや議会活動のほか、議会のしくみなどについて掲載していますので、ぜひご覧ください。

大洗町議会

検索